

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成27年 1月 7日 更新

事務事業名		指定管理候補者選定事務			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	総務部
	施策	25	行政改革の推進		所属課	財政課
	基本事業	89	公有財産の管理運営		所属班	財政班
予算科目	会計一般	款2	項1	目7	事業連番11600	法令根拠
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始		合志市指定管理候補者選定委員会要綱の施設の指定管理者制度に関する		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	成果優先度評価結果 : - コスト削減優先度評価結果 : -

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	公有施設における指定管理候補者の選定に関する事務である。対象施設はユーパレス弁天(平成23~25年度)、ふれあい館(平成23~27年度)、老人憩いの家(平成23~27年度)、みどり館(平成23~27年度)の4施設である。これまでの更新においては、いずれも非公募での選定であり、内部の選定事務で完結していたため、予算執行は事務手続きに伴う人件費のみであった。平成25年度は、ユーパレス弁天が契約満了となり、更新にあたっては、現段階では公募方式とされているので、選定委員会の構成員についても、外部委員を選任することとなる。それに伴う経費(報償費)が発生する。
【業務の流れ】	平成25年度においては、ユーパレス弁天の指定管理候補者の選定事務を行う。 6月選定委員の選任、3回の選定委員会の開催、10月市長への報告、10月指定管理候補者の決定(担当課への報告)。
【主な予算費目】	選定委員(審査員)の報償費(3回分)(1時間あたり5,000円~10,000円・のべ11時間・4人分)343,000円
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	ユーパレス弁天を公募方式での選定とするため、選定事務において透明性・公平性を確保するのに、内部委員のほか学識経験者(外部委員)による審査が必要である。 基本的には、外部委員の構成比率を多くする必要がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	選定基本方針案の担当課との協議、要綱改正	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	→ ア: 指定管理候補者選定委員会開催回数	(単位) 回 予算の主な増減の理由 指定管理者制度更新時期を迎える施設がないことによる選定事務関係経費の減。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	指定管理申請者	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 者 → ア: 指定管理申請者数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	審査基準に沿って、指定管理候補者を選定できる。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) % → ア: 指定管理候補者の決定率
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
指定管理候補者を選定する事務事業であるため、選定の決定率を成果指標と設定した。 25年度においては、ユーパレス弁天の指定管理候補者を選定するので、100%とした。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	27年度予定	28年度見込	29年度見込
① 活動指標	ア	回		0	4	3	0	0	0	0
	イ									
② 対象指標	ア	者		0	3	5	0	0	0	0
	イ									
③ 成果指標	ア	%		0	100	100	0	0	0	0
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円		210	343				
	人件費	(A) 事業費計	千円	0	210	343	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	0	309	756	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	519	1,099	0	0	0	0	

事務事業名	指定管理候補者選定事務	所属部	総務部	所属課	財政課
-------	-------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 滞りなく指定管理者の選定ができた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 平成26年度には指定管理公募は予定していないため該当無し。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 単年度毎の目標設定なので成果の向上余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 他に連携・統廃合できる事務はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の予算を計上しているので削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 想定した最小限の人員で計上しているので削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 指定管理者選定に関する事務として受益者負担をしいるような事務ではないので公平・校正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市が実施すべき内部事務である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成25年度においては、次年度に向けてユーパレス弁天の指定管理更新に伴う指定管理候補者選定委員の選定及び選定委員会を開催した。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																					